

蕨市立病院整備基本構想・基本計画について

【構成】

第1章 基本構想・基本計画について

- 1 - 1 これまでの経緯・背景
- 1 - 2 基本構想・基本計画の位置付け

第2章 当院を取り巻く環境

- 2 - 1 医療政策の動向
- 2 - 2 埼玉県地域保健医療構想と南部保健医療圏
- 2 - 3 将来の医療需要の変化
- 2 - 4 当院の現状と受療動向
- 2 - 5 市民アンケート調査の結果

第3章 新病院整備の基本的な考え方

- 3 - 1 新病院整備の基本理念
- 3 - 2 新病院整備の基本方針
- 3 - 3 新病院が担うべき役割と診療体制

第4章 施設計画

- 4 - 1 移転候補地について
- 4 - 2 施設の必要規模
- 4 - 3 施設整備の基本的な考え方
- 4 - 4 部門別整備の基本的な考え方

第5章 事業計画

- 5 - 1 事業方式の比較
- 5 - 2 事業方式の検討
- 5 - 3 概算事業費とスケジュール

※上記の章構成は、現時点でのイメージです。

第4章 施設計画

4-1 移転候補地について

① 現市立病院の概況

- ・開設：1952年（昭和27年）8月
- ・敷地面積：5,645.51 m²
- ・延床面積：6,865.65 m²
- ・建物概要

名 称		階 数	構 造	建 築 年
本 館	病 棟	5階建て	鉄筋コンクリート造	1970年(昭和45年)11月
	外 来	1階建て	鉄筋コンクリート造	
サービス棟		2階建て	鉄筋コンクリート造	
リハビリ棟		4階建て	鉄筋コンクリート造	2001年(平成13年)3月

② 移転候補地の概要

令和6年3月に決定した「蕨市立病院移転建替え方針」に示した移転候補地は、「西公民館・松原会館を含む一体的な敷地」であり、当該敷地の概要は以下のとおりです。

所在地	錦町土地区画整理事業 仮換地122街区 ※現在の住居表示：蕨市錦町3丁目3番41号 (現西公民館及び老人福祉センター松原会館等敷地)
地積合計	4,540.22 m ²
接道条件	敷地の北側・西側・南側：6.0m 敷地の東側：12.0m



西公民館・松原会館を含む一体的な敷地



① 松原会館



② 西公民館



③ 市管理地



④ 市営駐車場



③ 移転候補地における建築条件等

都市計画法	都市計画区域	区域内
	用途地域	第1種中高層住居専用地域 (敷地東側道路から25mを超える範囲) 第1種住居地域 (敷地東側道路から25mまでの範囲)
	防火地域	準防火地域
	地区計画	錦町地区地区計画
建築基準法	建ぺい率	60%+20%(角地緩和等)
	容積率	200%
	道路斜線	敷地の反対側の道路境界から20mの範囲について反対側の道路境界までの水平距離の1.25倍以下に建物高さが制限 ※壁面の位置を敷地境界から離れた分、緩和が受けられます
	日影規制	敷地境界線から5mを超え10mの範囲：4時間 敷地境界線から10mを超える範囲：2.5時間 ※測定面：平均地盤面からの高さ 4m

4 - 2 施設の必要規模

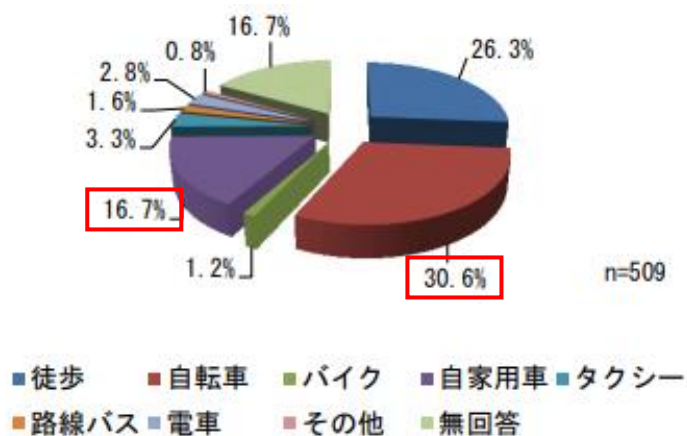
① 建物規模

- 現在の市立病院の延べ床面積は 6,865.65 m²ですが、一床あたりの病床面積は、現在の基準（医療法施行規則）に当てはめると非常に狭隘であるほか、外来を含めた病院全体で、来院者・スタッフ双方にとって十分な空間を確保できないなど課題があります。
- 感染症に対応するための動線にも配慮する必要があります。
- 当該移転候補地は、「4-1 移転候補地について」で示すとおり容積率 200%の地域であり、敷地面積を踏まえると基本的には延べ床面積 9,080 m²が上限となります。
- 市では、蕨市公共施設等総合管理計画の基本目標において、「保有施設等総量の抑制」の考えを示していることから、設計段階において設備機器の屋外配置のほか、病院運営に不便を来さない程度のスペースの効率化、コンパクト化等の検討を行うことを前提に、新病院の想定床面積は 9,000 m²程度を基本として考えます。
- 当該移転候補地と総合社会福祉センターとの間にある道路（幅員 6.0m）について、建物配置等の自由度を確保することで近隣住民への圧迫感の緩和や将来のニーズの変化に柔軟に対応することなどを見込み、新病院敷地としての活用を検討します。

② 外構等の整備

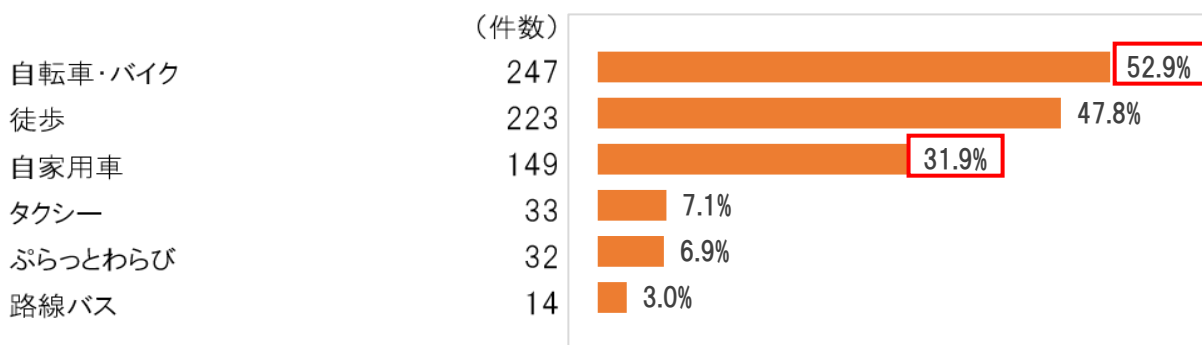
- ・ 蕨市立病院将来構想策定の際に実施した患者アンケートによると、回答者の 30.6% が当院への通院手段として自転車を利用しており、16.7%が自家用車を利用しています。
- ・ 市立病院建設に関する市民アンケートでは、市立病院を利用したことがある方の通院手段（複数回答可）は、自転車・バイクが 52.9%、自家用車が 31.9%という結果となっています。
- ・ 当院への通院は、徒歩を除いては自転車、自家用車の利用が圧倒的に多く、この傾向は病院移転後も大きく変化することがないと考えられることから、駐車場・駐輪場については十分な整備を行います。

蕨市立病院将来構想策定に伴う患者アンケート（平成 30 年 10 月より）



※市立病院への通院手段（外来・入院患者が回答・単数回答 n=606）

蕨市立病院建設に関する市民アンケート（令和 6 年 4 月より）



※市立病院への通院手段（市立病院を利用したことがある人が回答・複数回答可 n=467）

4 - 3 施設整備の基本的な考え方

① 建物整備の基本的な考え方

ここでは、移転建替える蕨市立病院について、建物づくりの観点から、どのような病院とするかを審議会の委員の皆さんの意見を踏まえつつ、近年の病院建設の動向を見ながら新病院整備における基本的な考え方を整理していきます。

【参考キーワード】

利用者目線からの意見

- ▶ バリアフリー対応
- ▶ プライバシーへの配慮
- ▶ 災害に強い
- ▶ 利便性

職員目線からの意見

- ▶ 職場環境の整備
- ▶ 機能的

その他、さまざまな意見

- ▶ 省エネルギー
- ▶ 景観への配慮

② 医療機器整備の基本的な考え方

- ・ 整備にあたっては、現病院にある現有機器について調査を行い、今後使用できる期間などを踏まえつつ、効率的な機器の調達を図ります。

③ 医療情報システム整備の基本的な考え方

- ・ 電子カルテシステムの導入を検討します。
- ・ 患者の待ち時間の短縮と待ち時間のストレス緩和を図るシステムの導入を検討します。

4 - 4 部門別整備の基本的な考え方

ここでは、以下に示す部門ごとに、新病院整備にあたっての基本的な考え方を示します。

現在、新病院整備における部門ごとの要望や留意すべき点などについて、医療スタッフ等にヒアリングを行っており、その結果を踏まえ、部門別整備の基本的な考え方を整理していきます。

- | | |
|--------------|----------|
| ① 病棟部門 | ⑦ リハビリ部門 |
| ② 外来部門（救急含む） | ⑧ 人工透析部門 |
| ③ 手術部門 | ⑨ 成人健診部門 |
| ④ 薬剤部門 | ⑩ 栄養部門 |
| ⑤ 臨床検査部門 | ⑪ 管理部門 |
| ⑥ 放射線部門 | |

【参 考】

① 病棟部門

- ・患者にとって快適でゆとりある環境を整備します。
- ・車いす等でも利用可能なトイレの数を拡充します。
- ・各病室に目がゆきとどき易いようスタッフステーションの配置について配慮します。
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

⑪ 管理部門

- ・管理部門の諸室は、外来部門・病棟への動線に配慮しつつ、集約的に配置を検討します。
- ・教育や研修等に必要な会議室や医療スタッフの当直室等を整備します。
- ・医療スタッフ等の人数に応じた更衣室を整備します。
- ・医療スタッフ用の休憩スペースを設け、休憩時間等にくつろげる職場環境を整備します。

第5章 事業計画

ここでは、新蕨市立病院建設にあたって、病院建設事業の特性や取り巻く社会情勢等を踏まえ、最も有効な事業方式（発注方式）や事業スケジュール等を検討していきます。

【考えられる事業方式】

① 設計・施工分離発注方式（従来方式）

：設計と施工を完全に分離して発注・契約する方式

② デザイン・ビルド方式（DB方式）

：設計と施工を一括して発注・契約する方式

③ アーリー・コンストラクター・インボルブメント方式（ECI方式）

：基本的に設計は設計事務所、工事は施工会社に発注・契約をしますが、施工会社が設計段階から技術協力を行う方式

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・